

最適カットオフ値、感度・特異度は、RDI\_TIB: 0.934、15.0、79.3%・100%、RDI\_eTST: 0.895、14.9、86.7%・91.7%であった。AHI $\geq$ 15では、RDI\_TIB: 0.863、15.9、86.4%・80.8%、RDI\_eTST: 0.860、17.0、90.9%・76.9%であった。AHI $\geq$ 30では、RDI\_TIB: 0.925、23.8、84.2%・92.2%、RDI\_eTST: 0.927、26.0、89.5%・88.2%であった。AHI $\geq$ 5に対してRDI\_TIB、RDI\_eTSTのカットオフ値を5とした感度・特異度は100%・8.3%、100%・8.3%、AHI $\geq$ 15に対してRDI\_TIB、RDI\_eTSTのカットオフ値を15とした感度・特異度は86.4%・69.2%、95.5%・61.5%、AHI $\geq$ 30に対してRDI\_TIB、RDI\_eTSTのカットオフ値を30とした感度・特異度は36.8%・98.0%、63.2%・94.1%であった。

【考察】 OSASが疑われる患者集団においてRDIはAHI $\geq$ 15およびAHI $\geq$ 30の患者を良好な感度・特異度でスクリーニングできることが示唆された。一方でRDI\_TIBと比較するとRDI\_eTSTでは若干の改善が認められるものの、AHI $\geq$ 30の患者では過小評価となる傾向があることに注意が必要と考えられた。AHI $<$ 5の患者ではRDIは過大評価となる傾向が強く、軽症者のスクリーニングには適さないと考えられた。

#### P3-44.

### 子宮内腔良性腫瘍を有する不妊患者の術前後における子宮内膜妊娠関連因子の変動

(東京薬科大学: 内分泌・神経薬理学教室)

○田村 和広、吉江 幹浩、立川 英一

(産科婦人科)

小島 淳哉、井坂 恵一

【目的】 子宮内腔のポリープや筋腫等の器質的な病変は不妊症の原因の一つとなり、これらの摘出は妊娠率を改善する。これは病変による卵管や内膜の圧迫による器質的な着床障害の回復によるところが大きいと考えられるが、患者での病変切除による内膜機能の変化は明確ではない。今回、不妊と診断されたポリープを有する女性での術前と術後の正常部の子宮内膜における妊娠関連因子の発現量の変化を比較検討することにより、子宮内良性腫瘍の存在が与える子宮内膜での妊娠関連因子への影響を解析した。

【方法】 倫理委員会の承認を得て、東京医大にて手術を受けた患者27名を対象とした。ポリープ(一部、子宮粘膜下筋腫)摘出術の術前後における分泌期(周期18~25日)子宮内膜の妊娠関連因子〔インスリン様増殖因子結合タンパク質(IGFBP)-1、IGFBP-7、シクロオキシゲナーゼ(COX)-2、カルレチキュリン(CAL)、HMGB1〕の発現量を定量的リアルタイムRT-PCRにて測定した。また、各発現量間の相関係数を算出し比較した。

【結果】 全症例における術前術後間の血中エストロジオール、プロゲステロン値に有意差はなかった。子宮内膜IGFBP-1とCOX-2発現量は術後に低下傾向、一方、IGFBP-7とCAL量は増加傾向にあった。HMGB1に術前後での差はなかった。術後に増加傾向が観察されたIGFBP-7とCAL量は、両者間に高い正の相関性が、術前及び術後でみられた。また、IGFBP-7とCOX-2間、並びにCALとIGFBP-1間の相関性は、術後に高値を示した。

【考察】 腫瘍摘出術により、内膜の胞胚受容能や脱落膜化に関与することが報告されているIGFBP-7とCALの発現に増加傾向がみられた。また、摘出術によりIGFBP-7とCALは、各々、エストロゲン作用により着床部位で活性が上昇するCOX-2及び脱落膜化マーカーであるIGFBP-1間との発現の相関性が高まった。以上の結果を合わせ考えると、摘出術は、着床に向けた妊娠関連因子の協調的な発現を生ずることが推察された。

#### P3-45.

### Evaluation of gynecologic laparoscopic surgery using the subcutaneous abdominal wall lifting method in Tokyo Medical University Hospital

(社会人大学院博士課程4年産科婦人科学)

○小野 理貴

(産科婦人科)

長谷川 瑛、寺田 秀昭、永光 雄造

伊東 宏絵、井坂 恵一

【目的】 腹腔鏡手術は開腹手術に比し患者への侵襲の軽減、創部の縮小、入院期間の短縮などのメリットがある。産婦人科領域でも症例数は増えており、適応疾患も拡大している。自施設で施行した5,110例について検討した。